

### 幽玄の舞 薪神楽鑑賞会



秋の夜長を炎き掲げての第三回薪神楽鑑賞会が、例年の通り十月十日の午後七時より鳥居前広場特設会場で御岳山観光協会主催で行われる。

赤々と燃えさかる炎に映し出される華麗な舞は幽玄な世界にいきないます。

演目は「奉幣」「大散供・剪」「三韓」「山の神」の四座を予定している。今回は「沢井八雲神社獅子舞」が競演、この地区の郷土芸能「神楽・獅子舞」が満喫出来るでしょう。

入場無料・宿泊予約は御岳登山鉄道及び各宿坊へ直接お電話下さい。

### 十月五日(日)

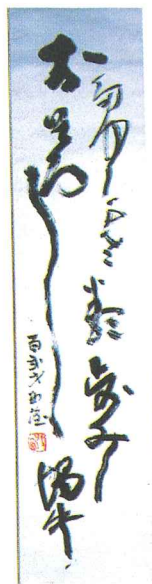
### 神楽の公開

九月十五日当神社の神職により、千二百年以上の歴史を持つ日本の古典音楽である雅楽の演奏と東京都指定無形民俗文化財の太々神楽が神楽殿にて一般公開された。

当日、御岳山をおとずれた行楽の親子連れ等も、足をとめて日本の民俗芸能のすばら

しさを満喫していた。

当神社では、六月第三日曜日と九月十五日(敬老の日)に神楽と雅楽、大東京祭に協賛して十月第一日曜日に神楽を無料で一般に公開している。



たぢまざる歩みおそろし蝸牛



墨：天空に翔ける龍のごとし

晴れてよし曇りてもよし富士山

### 北村西望展 (10月10日(金)~12月7日(日) 木曜休館)

文化勲章受賞作家であり、長崎の「平和記念像」の作者としても名だたる彫塑家北村西望。明治17年長崎県に生まれ、昭和62年、享年104歳で没するまで、芸術に対するバイタリティーと情熱を傾け続けた鬼才でした。壮年をすぎてなお新たな可能性を求め続けた氏は、書画の分野においても独特の躍動感をもって雄渾素朴で剛快、書道史上に唯先生のみの個性的表現であり、激しさと、奔放さと、そして躍動感を溢れさせた作品群がある。そこで今回、当神社の「畠山重忠像・狛犬」制作者でもあられるゆかり深い氏の、書画を中心に西望芸術を紹介。(宝物殿にて開催)



### 奉納された石段 (金井俊雄社中)

武州みたけ第八号のご案内申し上げた通り、この度板橋区徳丸講中講元田上彦一様以下〇九名の講員の方々のご奉納により大鳥居広場から十二段の階段が整備改修された。材質は白御影石を用い、袖石には講中名、講員名を刻んだ立派なもので、五月十一日の吉日に竣工式が執り行われ、その後御嶽神社の大前に盛大に太々神楽が奏上された。

当社ではこれからも拜殿まで三百段の整備事業を進めて行く予定です。講中、崇敬者各位の御協力をお願い申し上げます。

### 夏季シーズン終了奉告祭

夏の行楽シーズンの安全を祈り、七月十三日に夏季シーズン安全祈願祭を執行了した。

御岳山上は夏休み期間中、林間学校、研修会、合宿等に宿坊が利用され大いに賑わい今年も事故なくシーズンを終了する事ができた。

九月八日金井國俊御岳山観光協会長等が、シーズンの安全を感謝し、夏季シーズン終了奉告祭を執行了した。

### 太々神楽奏上講

(平成八年六月一日)

平成九年五月三十一日)

- 飯能市双柳御嶽講・八王子市並木町御嶽講・仏法僧と探鳥の集い・戸隠神社中社旅館組合・飯能市三丁目講・和光市下新倉一区講・カンタンの声を聞く会・大宮市高木講・多摩市上落合講・横濱市茅ヶ崎講・荒井電業社・川崎市馬場講・朝霞市浜崎講・富士見市馬場城側講・横濱市羽沢講・東久留米市小山講・川越市上戸講・板橋区富士見講・世田谷区喜多見西部講・新座市聯合講・新座市中下沢講・川越市砂講・川崎市新城講・東松山市下岡講・川崎市菅北浦講・所沢市林新田講・新座市貝沼太々講・練馬区北関田北講・川崎市有馬中村講・鈴木教芸・東京船堀太々講・秦野市堀川講・川口市元郷講・板橋区徳丸講・秦野市秦野太々講・川崎市野川講・世田谷区桜講・松戸市杉戸御嶽講・藤沢市長後御嶽講・町田市図師講・大田区六郷参拝講・横濱市菅田南町講・飯能市一丁目永代御嶽講

### 伝法講習開かれる

当神社の神職養成の伝法講習が去る八月二十五日より七日間、神楽殿、綾広の滝を修行の場として開かれた。受講生は原島一臣君、馬場晃一君、青木有貴君の三名。

黒田宮司が講師を務め、初日開講奉告祭を行い、早速、伝法日程に基づき講習に入った。神職としての心得、訓話を手始めに神社祭式、行事作法と続き、夕方には禊

行法の為に半里の山路を応援の先輩神職と白鉢巻も凛々しく滝に向った。夏とは言へ、奥宮より流れ落ちる深山幽谷の神滝の水は冷たく、伝法は佳境に入った。翌日より朝夕の禊行法、

日中は神職となる為の受講を重ね、火鑪具でおこした種火で粥を炊き、梅干、塩等の副食で粗食に耐えた。講習は最終日、神前に閉講を奉告しその全日程を無事終了した。

